設置事例 レポート

横浜市大医学部附属病院　様
患者用駐車場(235台)に満空表示システムを導入

駐車場の様子

'99/05

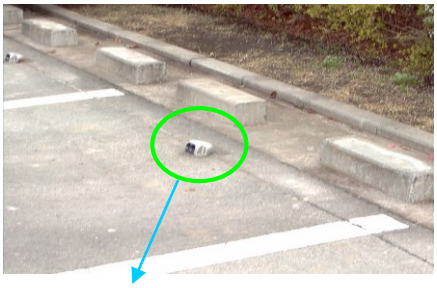
[導入前]

駐車場に入っても、どこに空きがあるのか分からず、駐車場のあちこちを探し回るので、利用者から、空きスペースがわかるようにならないか？との要望があった。

[導入後]

駐車場のブロック毎（10ブロック）に満空表示塔を設置。
空きブロックはどこか、一目で分かるようにした。
導入後は利用者の不満がなくなると共に、警備員のロードが軽減した。また、管理PCにより、管制室にて駐車状況の把握、管理が出来るようになった。

超音波センサー(EP-Ⅰ)



車の在否を判定

防滴型のセンサーを採用

風雨に強く、屋外でも使用可能のセンサーです。
設置時調整が不要です。

満空表示塔+センサー制御機

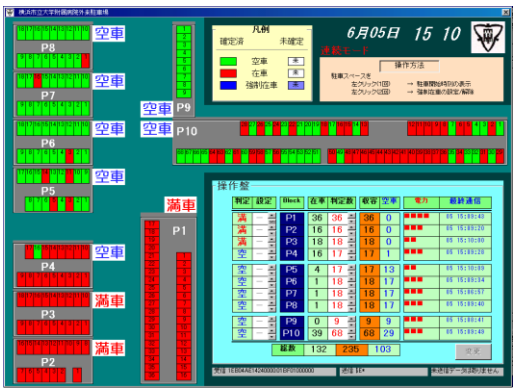
センサーの情報をもとに、満車、空車を表示させます。

太陽電池での駆動も可能です。

特定小電力無線ユニット

無線通信が可能となります。

パソコン+管理ソフト



特定小電力ユニットとの無線通信により、満空状況、入出庫時刻、駐車滞留時間を把握、管理することが可能です。満空表示も遠隔操作が可能です。

©2006 Exnos